

# 令和3年度 大村市民病院運営市民会議



<令和2年度の実績報告及び令和3年度の近況について>

令和4年3月24日 事務部長 安永 留隆



# 大村市の医療環境

<人口：97,919人、

高齢化率：25.4%（令和4年1月現在）>  
(長崎県：33.4%、国：28.9%)

一次医療

大村市医師会（約80施設）

<一次救急、在宅医療、老健、療養型、回復期リハ、緩和ケア等>

二次医療

市立大村市民病院（病床数212床、医師数32名）

<一次・二次救急、地域包括ケア、回復期リハ、健診事業等>

三次医療

国立病院機構長崎医療センター（病床数643床、医師数222名）

<二次・三次救急、各種拠点病院、臨床研究センター、臨床研修等>

## 病院概要

名称	市立大村市民病院
所在地	856-8561 長崎県大村市古賀島町133番地22
開設者	大村市
開設年	昭和26年10月1日 平成20年4月1日から指定管理 平成29年4月新築移転
管理運営	公益社団法人 地域医療振興協会
診療科目 (標榜) 22診療科	内科、呼吸器内科、腎臓内科、消化器内科、神経内科、感染症内科、循環器内科、 小児科、外科、整形外科、心臓血管外科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、 リハビリテーション科、放射線科、皮膚科、泌尿器科、救急科、精神科、 歯科口腔外科、麻酔科
病床数	許可病床212床（一般212床）
その他	管理型臨床研修指定病院 人工透析、健康管理センター

## 病院の沿革

- 昭和20年11月 大村海軍共済病院から移管され日本医療団大村病院として発足
- 昭和26年10月 大村市民病院として発足
- 昭和54年 5月 施設老朽化に伴い現在地に移転
- 平成 7年 6月 心臓血管センター開設
- 平成15年12月 感染症指定医療機関の指定
- 平成19年10月 大村市から指定管理者として地域医療振興協会が指定を受ける
- 平成20年 4月 社団法人地域医療振興協会市立大村市民病院開院(平成21年12月公益社団法人に移行)
- 平成21年 7月 回復期リハビリテーション病棟開設(32床)
- 平成23年 5月 CCU施設基準辞退→HCUへ
- 平成26年 6月 オーダリングシステム→電子カルテシステムへ ※令和3年8月更新
- 平成26年 9月 地域包括ケア病棟開設(56床)
- 平成26年10月 一般病床(センター病棟・3階病棟)の看護配置を7対1→10対1へ
- 平成27年 7月 新病院建設工事着工
- 平成29年 4月 新病院開院 216床(一般病床212床、感染症病床4床)  
※管理運営委託期間を30年間(~R29.3)に変更
- 令和 3年10月 一般病床212床 (9月30日、感染症指定医療機関の指定解除(感染症病床▲4床))

私たちは、地域の皆様の「健やかな生活」を支援する「あたたかい医療」を行います。

### ○運営方針

1. 患者さん本位の地域医療を行います。
2. 患者さんにまごころを込めた十分な説明を行い、信頼される医療を実践します。
3. 自己研鑽に努め、チーム医療を推進し、安心・安全な医療を提供します。
4. 地域の皆様が安心して生活できるよう、地元医療機関・行政との連携を密にし保健医療福祉のネットワークの構築を推進します。
5. 患者さんの権利を尊重し、個人情報を守ります。
6. へき地支援病院として、離島や山間部の医療過疎地への診療支援を推進します。
7. 臨床研修病院として、地域医療を志す医師を育成します。

### ○医療機能の特色

急性期医療から回復期、維持期、予防医学にわたる一貫した医療の提供を行っています。

### 基本理念

- ・地域の皆様へ笑顔とあたたかい心で信頼される看護を行います。

### 管理体制

- ・看護単位7個（3F、4F、5F、6F、HCU、手術室、外来）
- ・病棟及び外来には、師長・副師長・主任を配置
- ・固定チームナーシングの看護体制


### 教育方針

- ・「ともに育つ教育環境」を整えることが安心・安全の療養環境に繋がると捉え、新人看護師の育成継続教育に力を注ぐ
- ・他施設の新人看護師の研修も受け入れ
- ・看護学校の臨地実習施設
- ・市内の中学・高校の職場体験の受入

# 入院診療体制

## <地域医療構想を念頭に置いた計画>

新病院 病棟構成の変更 平成29年4月～

旧病院			新病院 H29.4～	新病院 R3.10～	地域医療構想に係る 病床報告区分	
ハイケアⅠ	5		ハイケアⅠ	8	高度急性期	
ハイケアⅡ	4			8		
急性期(10:1) 内科・外科他	60		急性期(10:1) 内科・整形外科他	54	54	急性期
急性期(10:1) 心外・循環器	46		急性期(10:1) 心外・循環器	52	52	急性期
回復期リハ	32		回復期リハ	40	40	回復期
地域包括ケア	56		地域包括ケア	58	58	回復期
感染症	4		感染症	4	0	
合計	207	合計	216	212		

# 市立大村市民病院の現況

## 平成20年4月から、地域医療振興協会が管理運営を開始

	令和2年度	令和3年度 (4月～1月)
病床数	216床	216床(4-9月) 212床(10-1月)
外来患者数	286.2人/日	302.8人/日
入院患者数	174.2人/日	176.1人/日
病床稼働率	80.6%	82.0%
平均在院日数(一般)	13.6日	13.5日
紹介率	67.0%	59.2%
救急車受入件	834件	773件

臨床研修指定病院

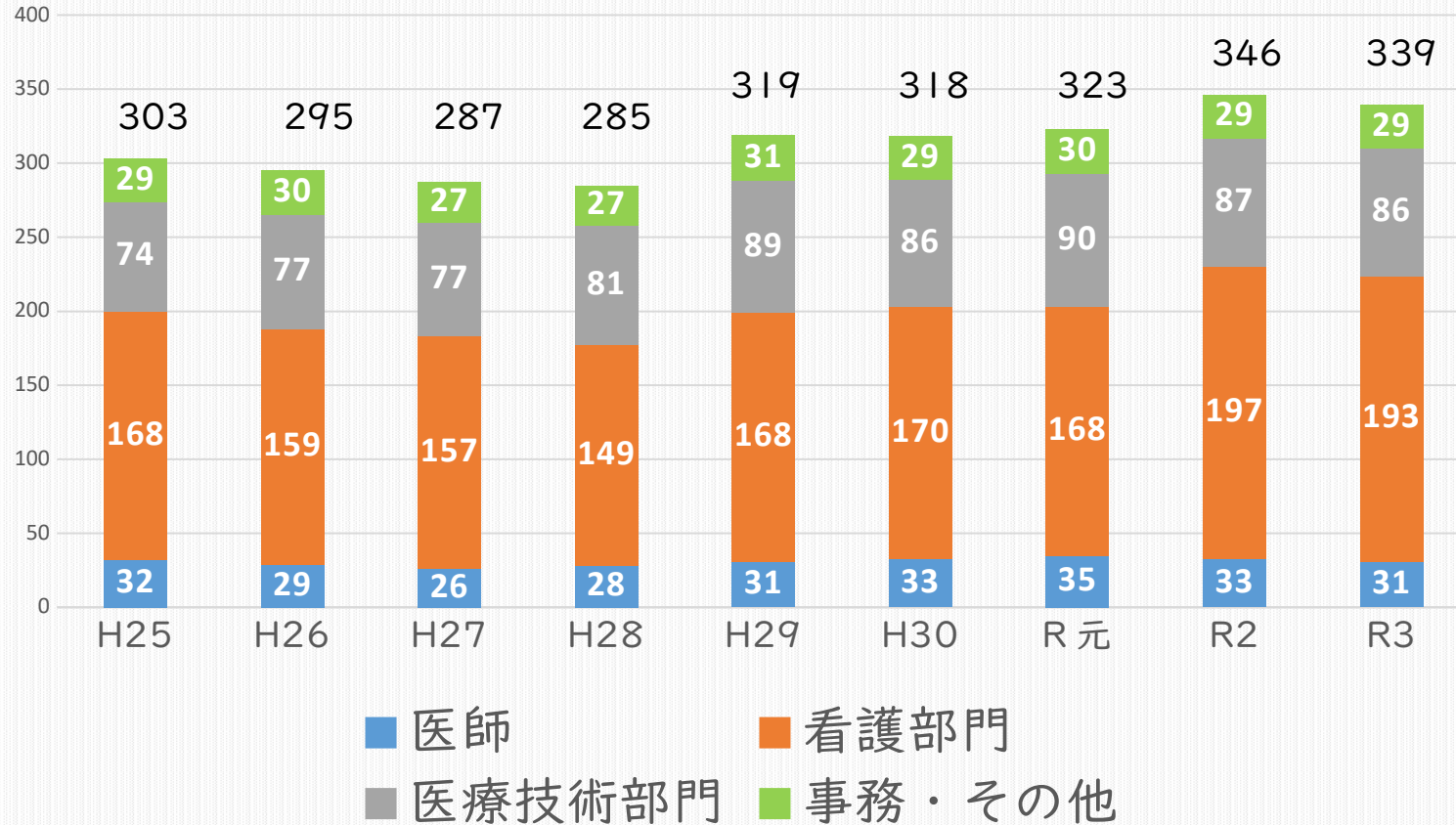
看護配置基準：一般 10対1 (DPC採用)、HCU(8床)  
回復期リハ病棟、地域包括ケア病棟

令和2年度稼働率  
(回復期リハ 90.6%、包括ケア 84.3%)



# 職員数の推移

## 常勤職員数の推移



H20.4.1移行時 常勤職員245名、非常勤 48名 計293名

R4.4.1(見込) 常勤職員343名、非常勤96名 計440名

## 職員数 (R4.3.1現在)

### ○診療部(医師)

常勤 32名  
非常勤 13名  
計 45名

※常勤には協会他施設からの派遣医師1名を含む

### ○看護部

常勤 187名  
非常勤 48名  
計 235名

### ○医療技術部

常勤 83名  
非常勤 11名  
計 94名(うちリハ療法士47名)

### ○事務部ほか

常勤 30名  
非常勤 28名

### 【合計】

常勤 332名  
非常勤 100名  
計 432名

## 政策医療等への取組

- ・ 5 疾病  
がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患
- ・ 5 事業  
救急医療、災害医療、へき地医療の支援、  
周産期医療、小児医療にかかる医療供給体制
- ・ 救急医療(2次救急)、心臓血管病センターでの総合的高度先進医療  
(24時間体制)
- ・ 地域包括ケアシステムの入院体制を支える地域包括ケア病棟・  
回復期リハビリテーション病棟の運営
- ・ 高度歯科口腔外科、人工透析を実施
- ・ 健康管理センターにおける各種健康診断、保健指導
- ・ 災害医療への対応BCP等、感染症対応

## 小児作業療法（リハビリ）への取組

### ★令和元年10月から運用開始

- ・ 患者家族、大村市から要望  
小児リハビリ施設の不足。市内で実施してほしい。
- ・ 県立こども医療福祉センターと連携  
作業療法士2名が研修、勉強会を実施。
- ・ リハビリ職員3名増員
- ・ 30名の小児言語リハビリ実施  
作業療法介入の診断名対象は27名
- ・ 小児リハ実施状況（作業療法・言語療法）

R元	11～3月	実施人数月平均延	101名	（収入約3,500千円）
R2	4～3月	実施人数月平均延	98名	（収入約6,600千円）
R3	4～6月	実施人数月平均延	95名	（収入約2,100千円）

## 災害医療等 2類感染症対策

新病院では感染症対応可能病床4床を完備

平成15年12月25日 第2種感染症指定医療機関の指定（4床）  
令和 3年 9月30日 第2種感染症指定医療機関の解除  
（以降は、感染症協力医療機関として対応）



## 災害医療等 BCPの策定・取組状況

### ・平成26年1月策定（旧病院）平成29年5月改定（新病院）

職員の配置、参集要員（病院～職員宅間までの距離）等は年1回見直し、更に現状に合わせて随時更新している。

令和元年8月17～18日に長崎県DMAT隊員養成研修会へ参加した。

**\* BCPに基づく災害訓練は新型コロナウイルス感染症の影響で中止。**

### ・大村市地域医療5者災害医療WG 平成30年11月6日発足

参加機関：県央保健所、大村市、大村市医師会、長崎医療センター、市立大村市民病院

目的：大規模災害発生時の情報共有等について、平時からの関連機関で有事への備えを行う。

\*令和3年度：7月9日の協議会に参加し、ホットラインの構築等連絡体制について協議。

⇒災害時緊急連絡用としてIP無線機の導入済。

### ・今後の協議事項

- 1) 豪雨災害に備え、要配慮施設等の避難計画
- 2) コロナ禍における避難所運営

R3年11月 長崎県航空機事故対処総合訓練



R3年11月 消防訓練



## 地域医療連携室を中心に病診連携・病病連携を推進

- ・長崎医療センター、大村市医師会、福祉施設等の相互連携体制の構築、連携室協議会への参加、勉強会の開催等

(勉強会は令和3年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大により中止)

平成31年4月 「地域連携・患者支援センター」として、地域医療連携室（前方連携）と入退院支援室を配置した。

入退院支援室は、ソーシャルワーカーが関わる患者相談室と入退院支援を行う看護師を入退院支援係として配置し、入退院支援の連携強化を図る。

- ・高度医療機器の共同利用
- ・大村消防署との連絡協議会開催 (令和3年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大により中止)
- ・あじさいネットによる地域医療機関との連携
- ・健康教育の推進 ふれあい健康講座、出前講座等

(令和3年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大により中止)

- ・市内の各種行事等における職員の派遣

## ふれあい健康講座



## 出前講座



新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、休止中



- ・ 地域医療振興協会が実施する研修・学術活動

地域医療学術集会等

(令和3年度)

へき地・地域医療学会（福岡会場・WEB開催）

地域医療の再定義 ～へき地から学ぶ地域医療～

- ・ 協会施設間での後期研修医の受け入れ

（離島を含む研修）

- ・ 基幹型研修施設

- ・ 医学生を受入

- ・ 院内外での研修、研究発表等

教育委員会による毎月の研修会の開催、各種学会における発表への援助。特定ケア看護師等の資格取得のための援助

### ○医療安全管理

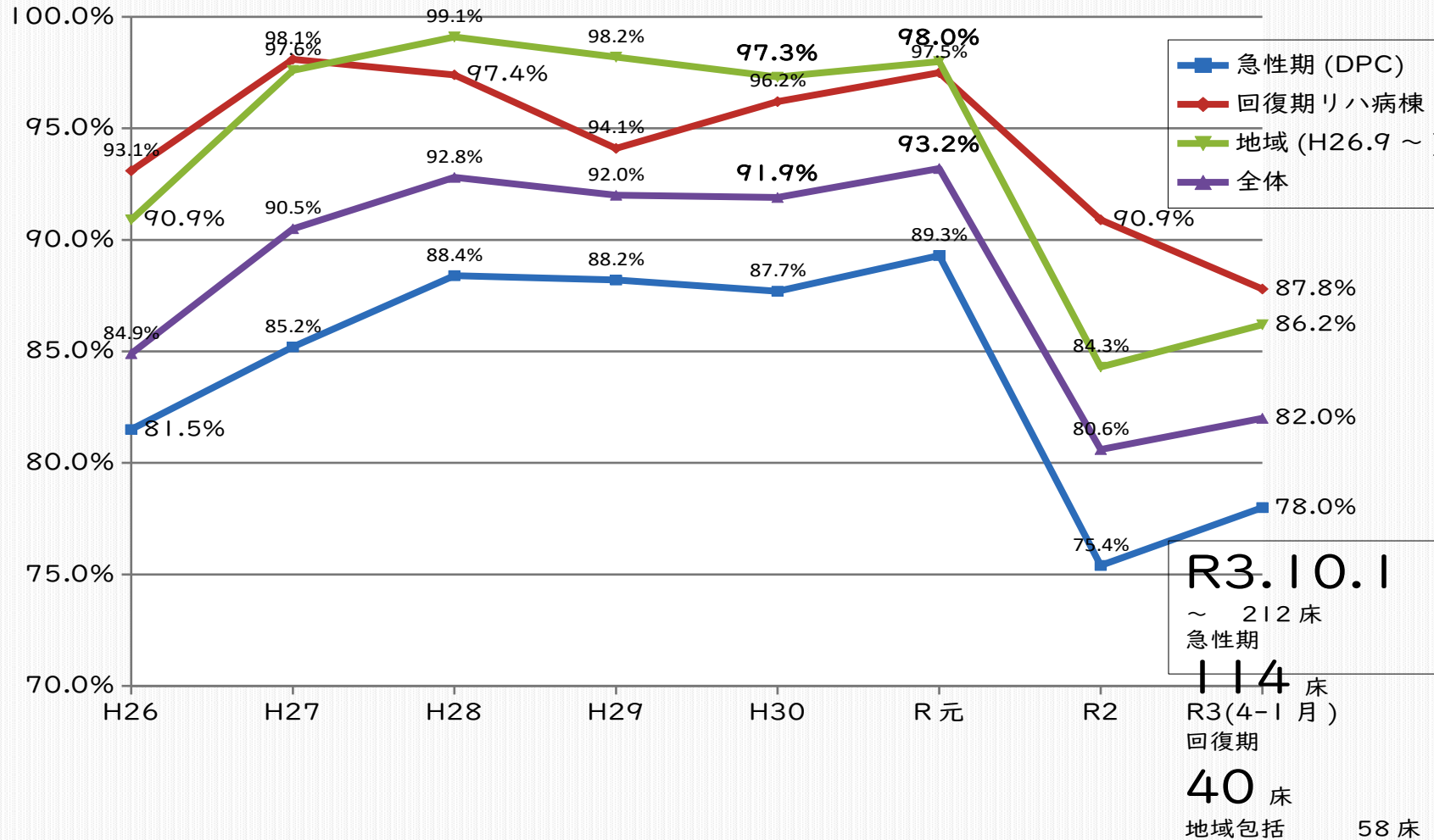
- ・ 医療安全管理室の設置 専従者の配置
- ・ 医療安全管理委員会の開催、定期的院内巡視、リスクの把握・分析・検討・評価・改善を実施
- ・ 事故、インシデント、クレーム等の早期把握
- ・ 全職員への医療安全教育、研修や啓発、新人教育の徹底(出席を義務化)

### ○院内感染対策

- ・ 感染対策室の設置 専従者(認定看護師)の配置
- ・ 院内感染対策委員会の開催、ICT委員会の職場ラウンドにより各職場での感染対策チェック
- ・ 全職員への感染対策教育、研修、連携施設との相互カンファレンスの実施

# 病床稼働率 推移

R3年度以降目標 全病床数 (212床) の 90% 191名



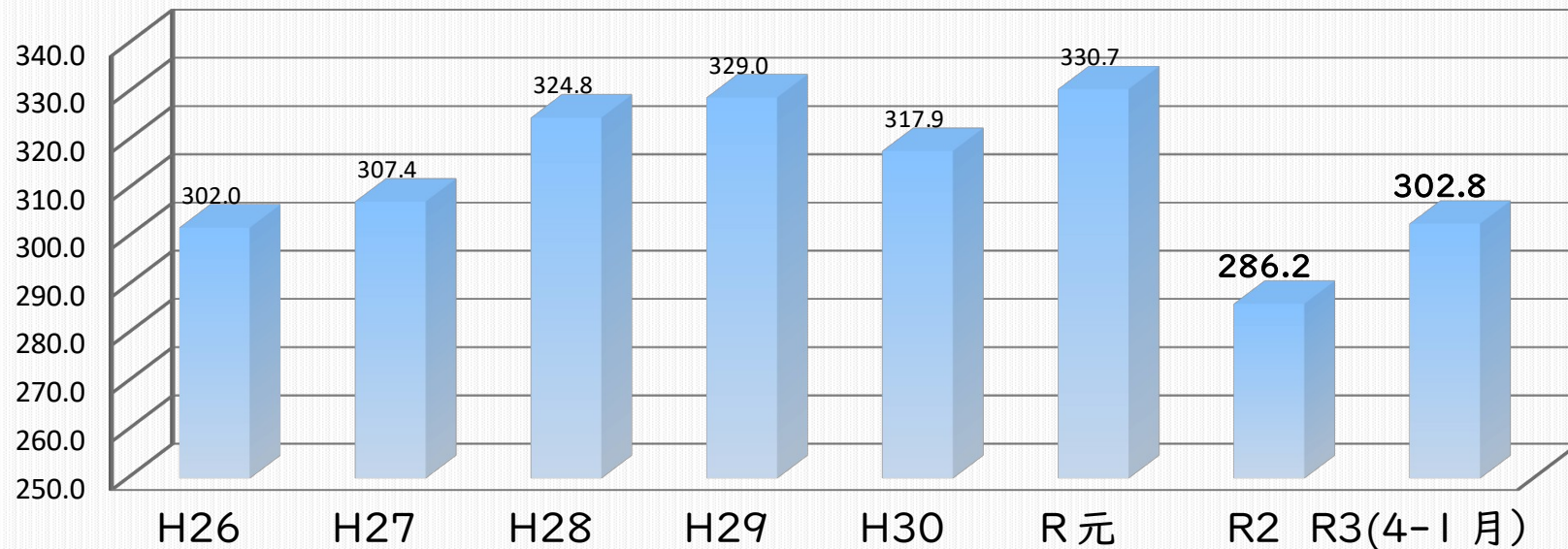
稼働率・1日平均入院患者数  
(年度平均)

H27年度	90.5%	183.8名/日
H28年度	92.8%	188.4名/日
H29年度	92.0%	198.0名/日
H30年度	91.9%	198.4名/日
R 1年度	93.2%	201.2名/日
R 2年度	80.6%	174.2名/日
R 3年度	82.0%	176.1名/日

令和3年度稼働率 4月~1月分累計 176.1名 82.0%

# 外来患者数推移

## 外来患者数 年度平均



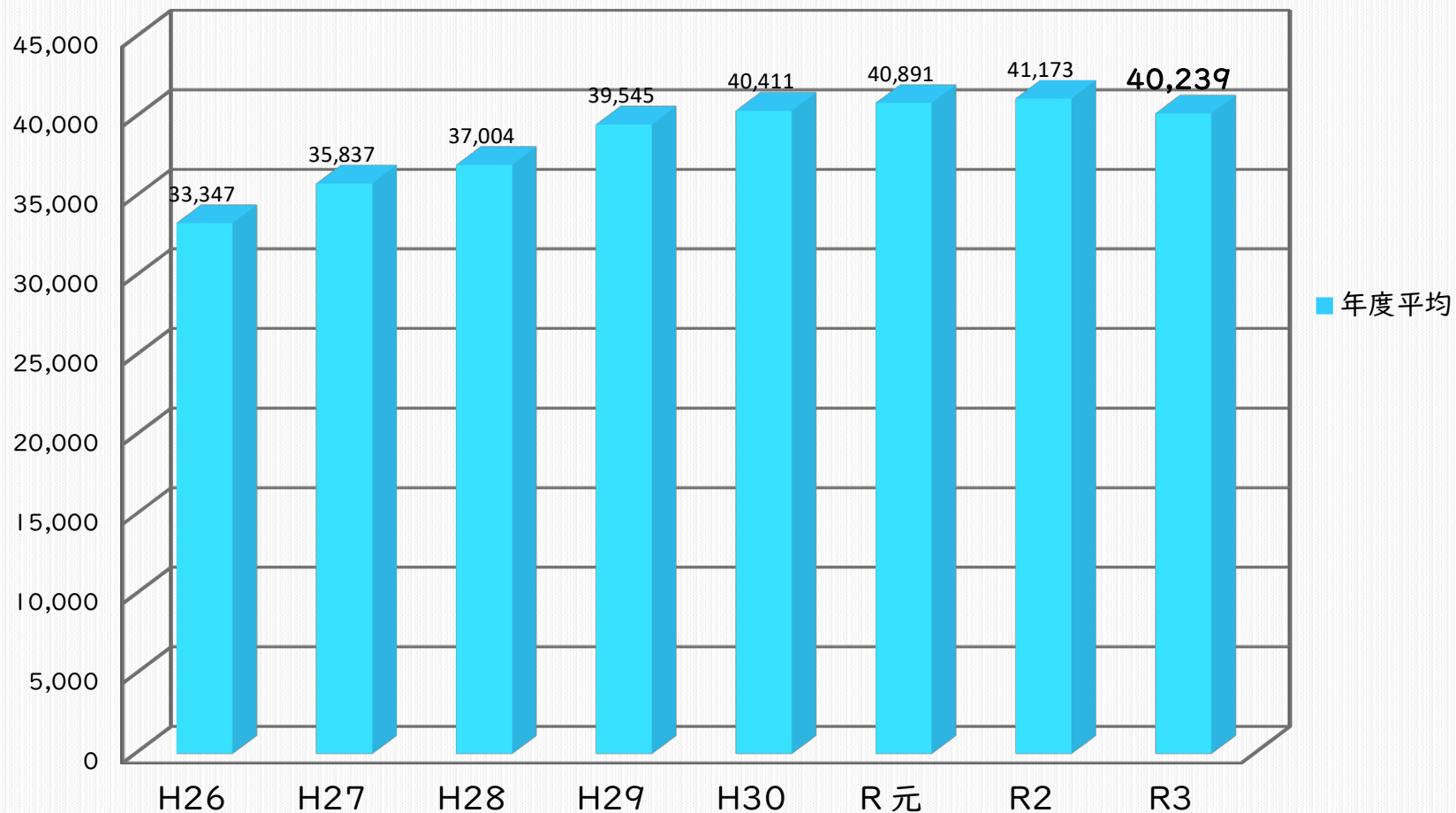
## 1日平均外来患者数

H27年度	307.4名
H28年度	324.8名
H29年度	329.0名
H30年度	317.9名
R元年度	330.7名
R2年度	286.2名
R3年度 (4-1月)	302.8名

令和3年度実績：4月～1月分累計 302.8名

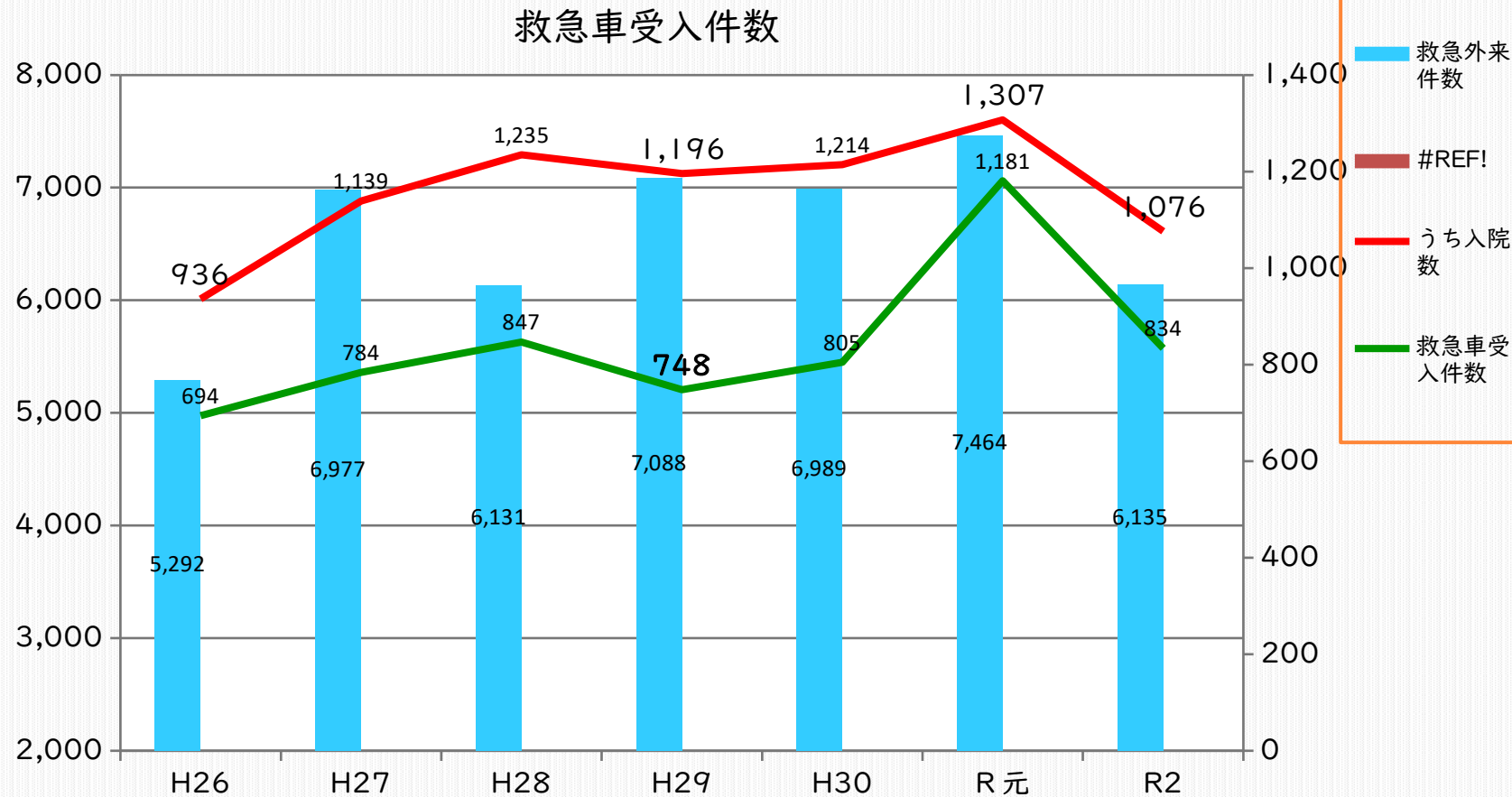
# 回復期リハビリテーション病棟単価推移

回復期リハビリテーション病棟単価 (単位;円)



令和3年度(4月-1月) 平均単価 40,239円  $\Delta$ 934円(対前年度比)

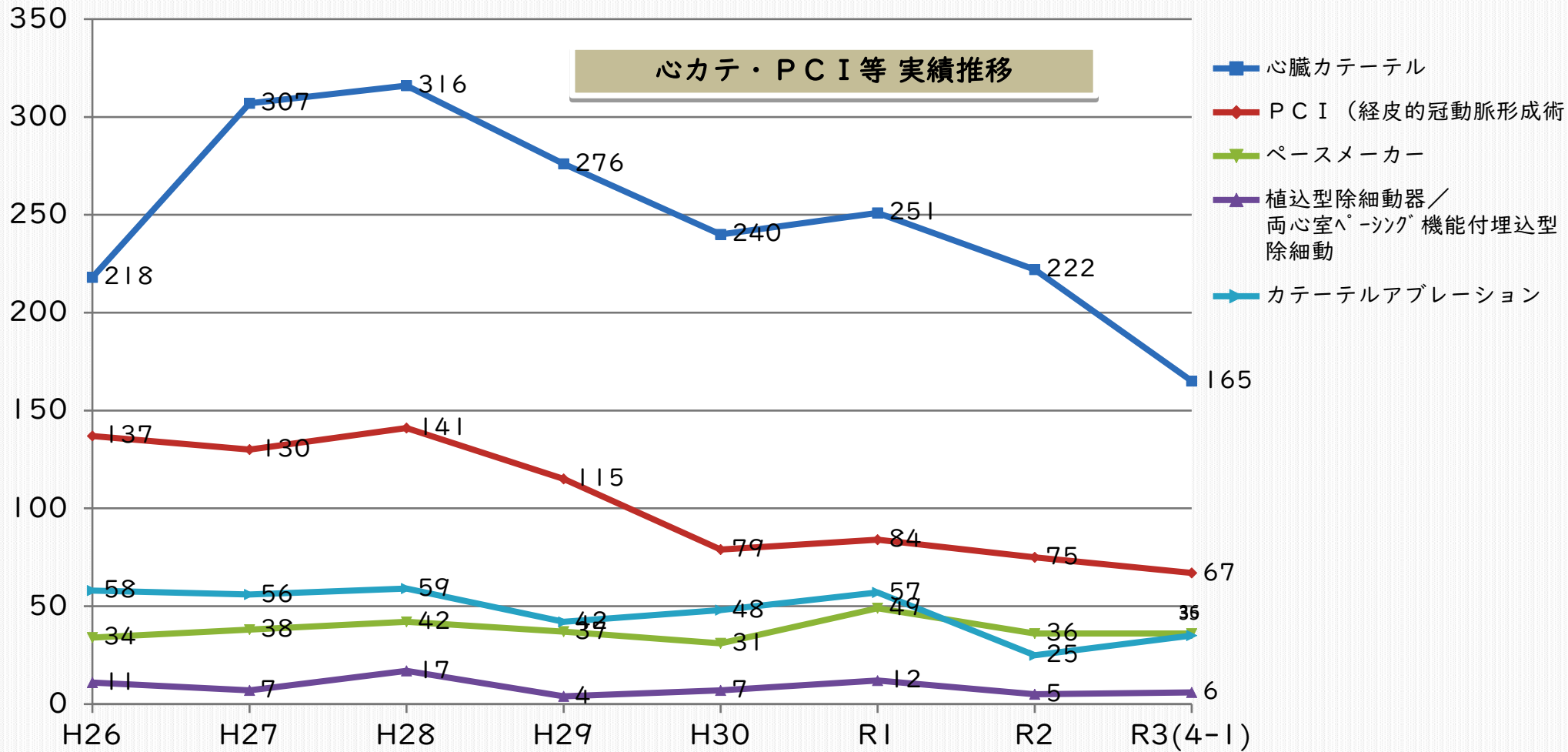
# 救急医療（救急車受入件数）



R3年度（4月～1月分累計）

・救急車受入件数 773件、 ・救急外来件数 6,679件（うち入院数 1,032件）

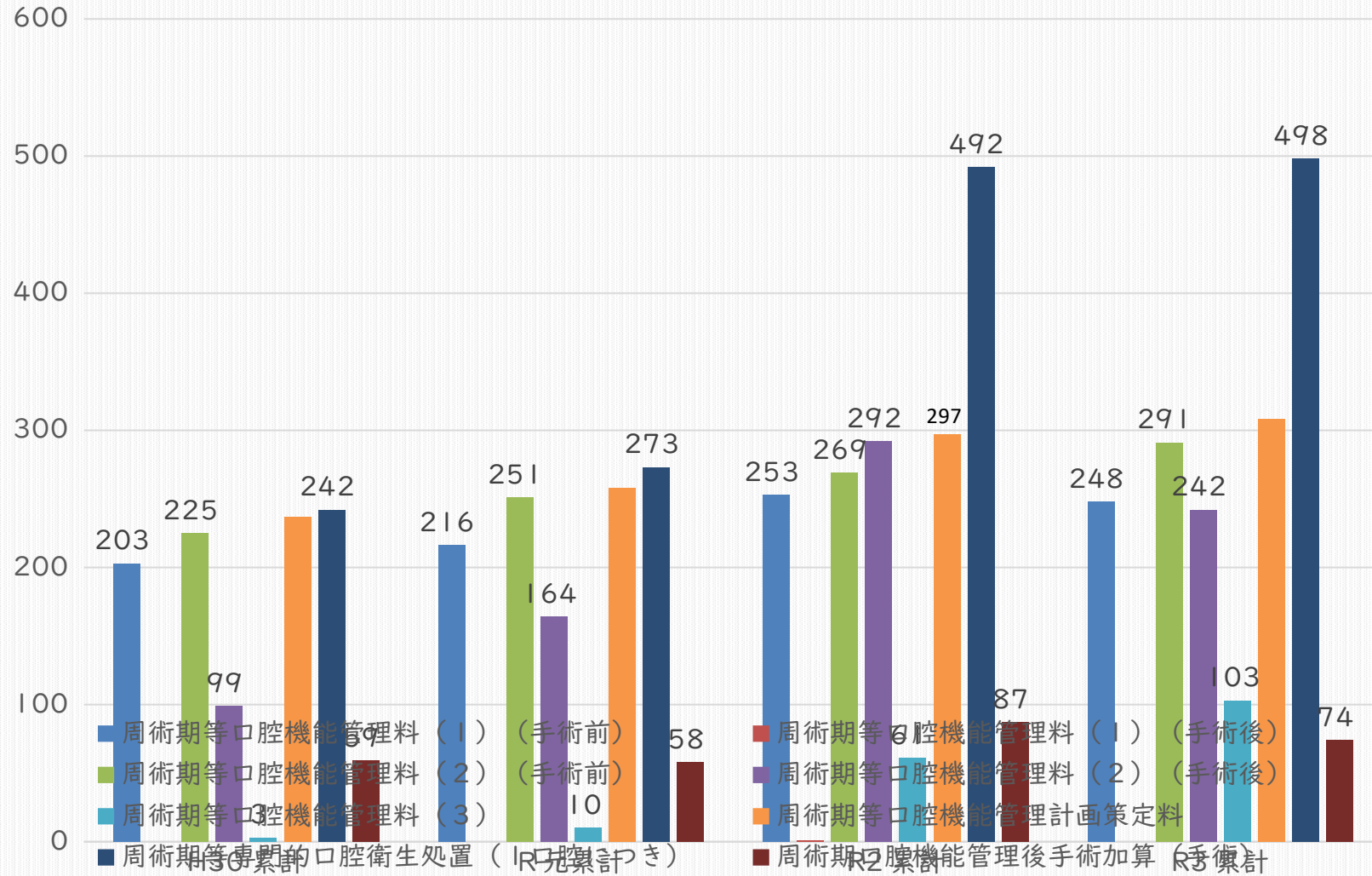
# 循環器系・心臓血管外科治療



心臓血管外科手術（下肢静脈瘤手術、シャント拡張術、ステントグラフト内挿術、冠動脈、大動脈バイパス手術 他）

・ H30年度⇒251件、・ R元年度⇒252件 ・ R2年度⇒206件  
 (参考：R3年度4月～1月分累計 208件)

# 歯科口腔外科（周術期等口腔機能管理料件数）

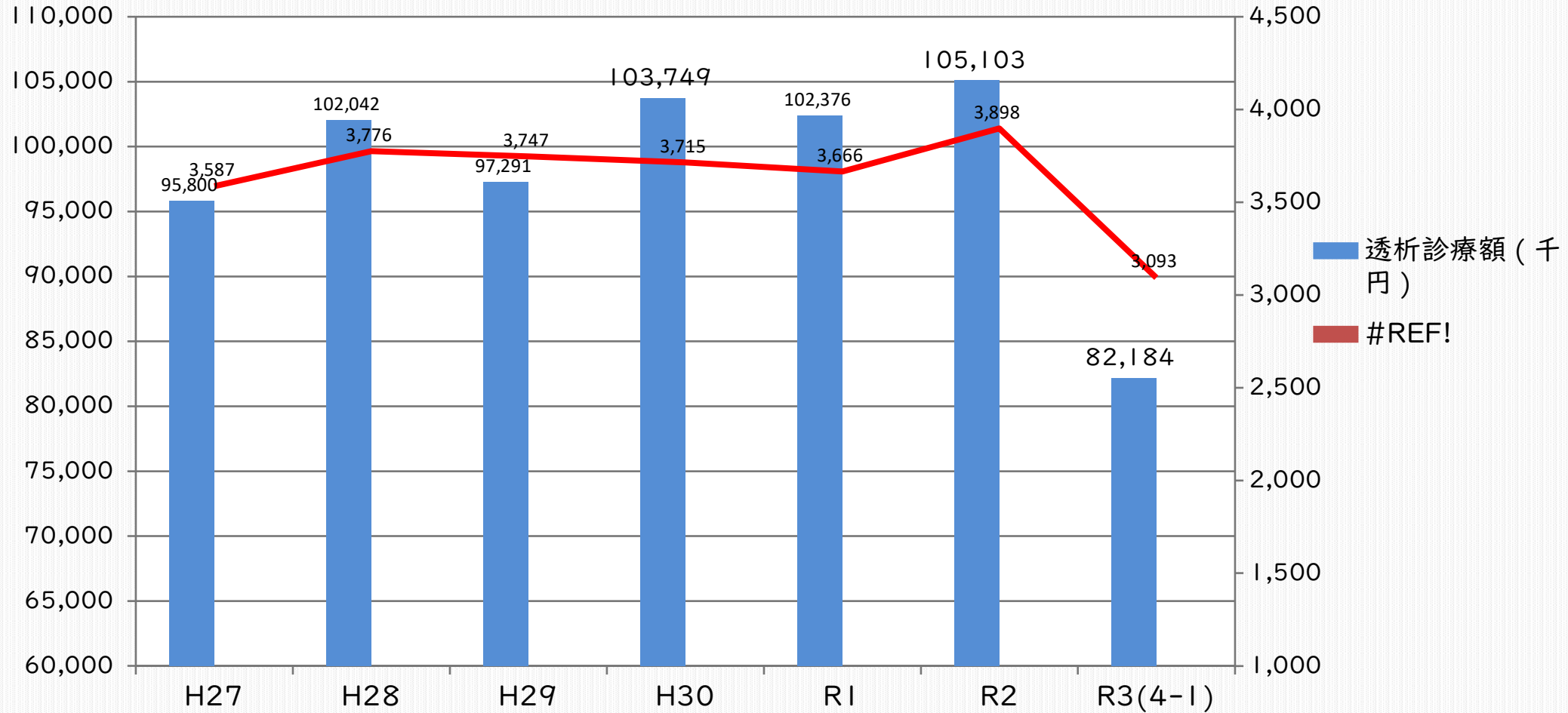


R3年度（4月～1月）実績



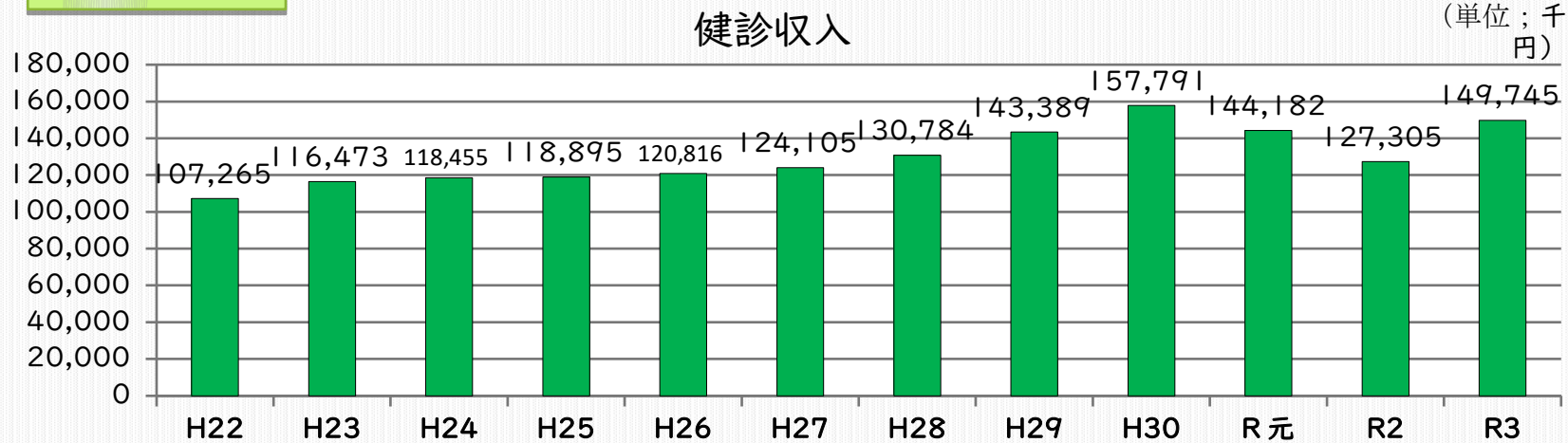
# 人工透析の状況

## 外来透析件数

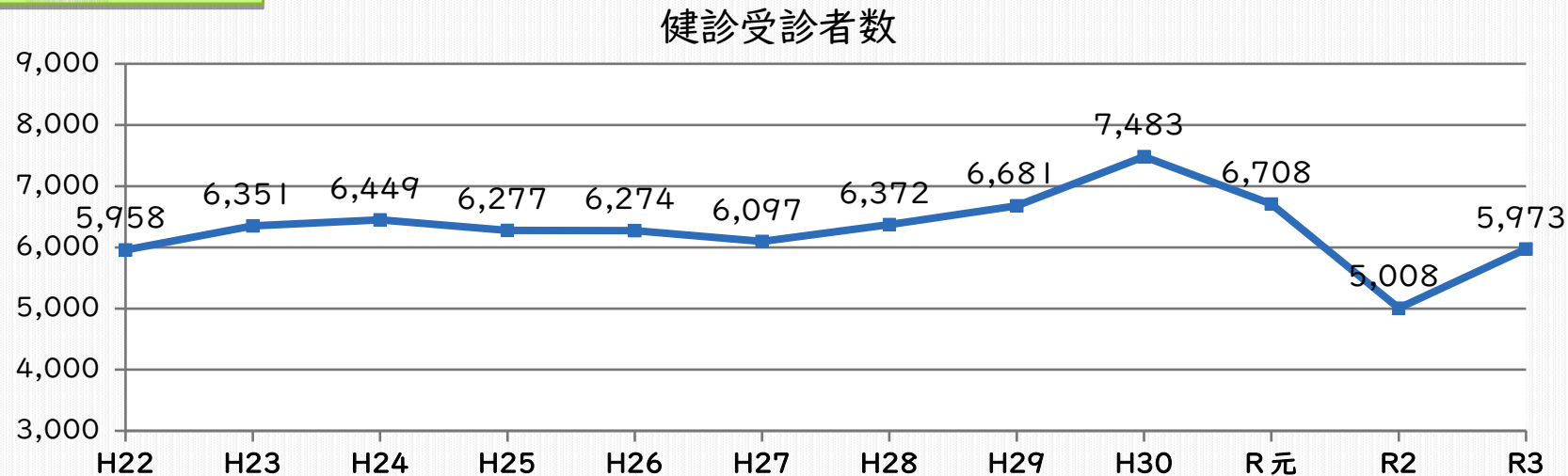


# 健康管理センター稼働実績 推移

## 収入の推移



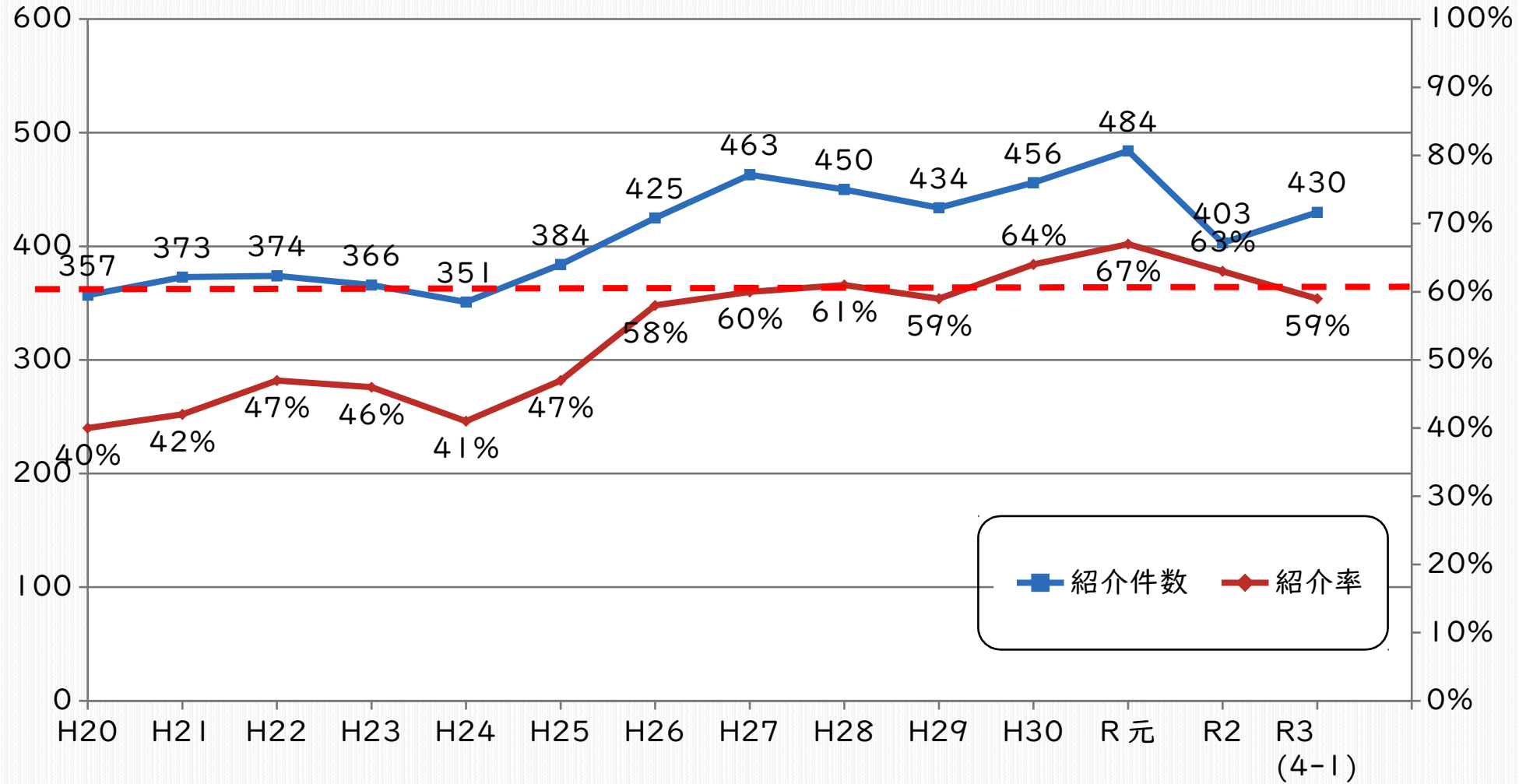
## 受診者数推移



R3年度は、4～1月まで実績

# 地域連携 紹介数・紹介率の状況

## 年度別 紹介件数（月平均）・紹介率



R3年度（4月～1月分） ・ 紹介月平均430件 ・ 紹介率59.2% ・ 逆紹介率39.1%

# 指定管理後の損益の推移①

(単位：千円)

区分	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
事業収益	3,476,370	3,677,010	3,840,999	3,781,443	3,860,088	3,906,607	3,735,438
事業費用	3,921,390	4,032,651	4,127,129	4,072,381	4,127,726	4,253,566	4,027,346
事業損益	▲445,021	▲355,642	▲286,130	▲290,938	▲267,638	▲346,959	▲291,907
事業外収益	213,647	213,647	273,651	341,623	337,831	329,261	310,651
事業外費用	12,103	11,899	15,764	15,701	15,307	15,121	14,666
経常損益	▲243,477	▲93,890	39,723	16,383	54,886	▲32,819	4,077

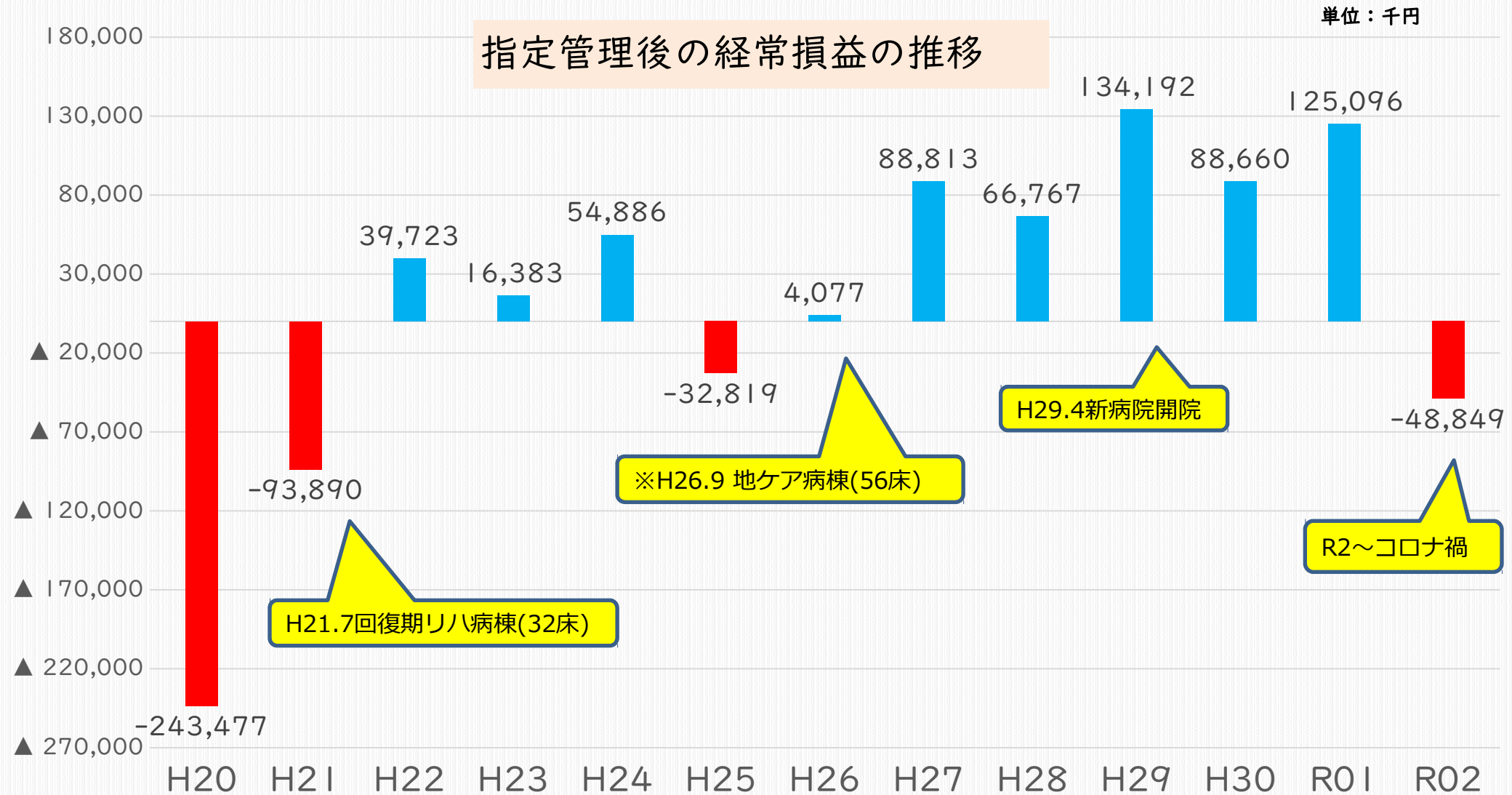
※H21.7 回復期リハ病棟(32床)

※H26.9 地ケア病棟(56床)

区分	H27	H28	H29	H30	R01	R02
事業収益	3,968,003	4,169,770	4,271,713	4,431,572	4,612,357	4,095,724
事業費用	4,148,018	4,383,568	4,404,372	4,522,300	4,705,216	4,610,617
事業損益	▲180,015	▲213,798	▲132,659	▲90,728	▲92,859	▲514,893
事業外収益	326,989	317,118	315,180	259,481	286,957	482,684
事業外費用	58,161	36,553	48,329	80,090	69,002	16,639
経常損益	88,813	66,767	134,192	88,660	125,096	▲48,849

※H29.4 新病院開院

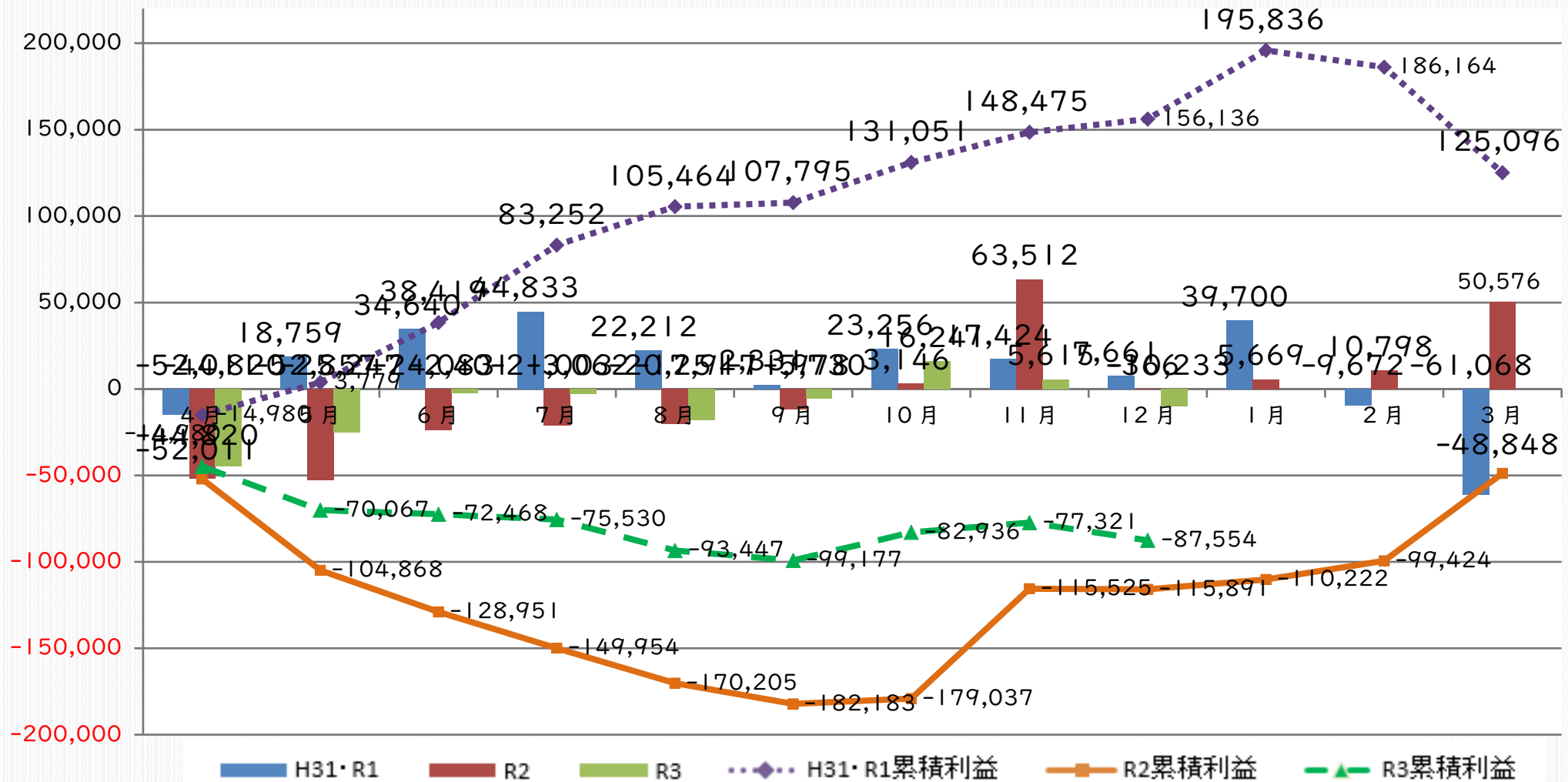
## 指定管理後の損益の推移②



(大村市直営の最終年度 H19年度決算 ▲847,000千円)

# 月別損益状況（過去3年間推移）

## 月別経常損益推移



R3年度 4月～12月分累計  $\Delta 87,554$  千円

## 令和3年度 新型コロナウイルス感染症患者受入等について

- ・ 当院の病床数 4～9月 216床（一般212床、感染症4床）  
10～3月 212床（一般212床）

感染症病床4床については、今年度、新型コロナウイルス感染症患者（擬似症を含む）43名を受け入れ、対応してきた。

- ・ 呼吸器内科医師の退職に伴い、令和2年9月末に感染症指定医療機関の指定解除の届出を長崎県へ提出し、令和3年9月30日に解除された。
- ・ 今後も、新型コロナウイルス感染症協力医療機関として新型コロナウイルス感染症患者等の受入を行う。



ご静聴有り難うございました

